



山口県子ども読書支援センター（山口県立山口図書館）発行

（電話：083-924-2113 FAX：083-932-2817

Eメール：a50401@pref.yamaguchi.lg.jp）

【メールマガジン「本はともだち～山口県子ども読書支援センターニュース」配信中！】

メールマガジン「本はともだち」は、新刊紹介や県内の行事など、より充実した内容で配信中です。

読者登録の方法は県立図書館のホームページをご覧ください。

【山口県子ども読書支援センター行事】

*各イベントの詳細については、当センターのホームページよりご確認ください。 →



★「秋のスペシャルおはなし会」

○日時：令和8年11月14日（土）10：30～11：15

○会場：山口県立山口図書館 第2研修室（こどもとよししつ 3F）

○対象：幼児・小学生及びその保護者（小学3年生までの幼児・児童には保護者の付添必要）

○内容：人形劇、読み聞かせなど 実演：おはなしチェリーズ

○定員：40名（要申込み、先着順。保護者の人数を含む。） ○参加費：無料

○申込方法：11月10日（火）までに、電子申請または来館（HPの要項をご覧ください。）

https://library.pref.yamaguchi.lg.jp/center_annai/center_annai-29339/

★「第3回新刊児童書閲覧会」

○日時：令和8年12月17日（木）～12月23日（水）9：00～17：00 ※12月21日（月）は休館日のため実施しない。

○会場：山口県立山口図書館 第2研修室（こどもとよししつ 3F）

○対象：市町立図書館職員、学校図書館関係者、ボランティア関係者、子どもの本に関心のある方

○定員：一人2時間、各時間帯20名程度（申込み優先・当日参加も可）

○申込方法：12月16日（水）17：00までに、電子申請又はFAX、来館（HPの要項をご覧ください。）

https://library.pref.yamaguchi.lg.jp/center_annai/center_annai-29444/

【新刊紹介】価格は消費税抜き

＜絵本－乳幼児から＞

『なにみつけたの？』 おおはしえみこ/作 いりやまさとし/絵 ひさかたチャイルド 2026.8 ¥1200

のはらにあそびにきた、うさぎさんとくまさん、きつねさん、りすさんたち。みんなで、あきのたからものをさがそう。うさぎさんはおはな、りすさんたちはいろんないろのはっぱ、くまさんはどんぐりをみつけたよ。さいごに、きつねさんがぼうしをとってみせると…。秋の素敵なものがいっぱい。絵本。月刊絵本『もこちゃんチャイルド』2024年度10月号を改訂して単行本化。

＜絵本－3、4歳から＞

『マギーとおつきさま』 マーサ・アレクサンダー/作 田中潤子/訳 瑞雲舎 2026.8 ¥1300

こんやのおつきさまは、おおきくてまんまる。あかるくてめがさめてしまったマギーは、いぬのラフといっしょに、おかのうえのおつきさまをつかまえにいく。ぜんぜんとどかず、あきらめてかえろうとしたとき、おつきさまがいけにおっこちていることに気づいてたすけようとするが…。白黒の風景に浮かぶ黄色い月が印象的な絵本。1982年にアメリカで出版された作品の初訳。

＜絵本－5、6歳から＞

『あたまにキノコがはえちゃった！』 ピンシュエン・チュー/作 一青妙/訳 光村教育図書 2026.8 ¥1600

あさ、とりがめをさますと、あたまにキノコがはえていた。いしやは、これはキノコだが「シンパイ」でもあり、しんぱいしなくなればとれるという。しかし、どうすればしんぱいがなくなるかなやむうちに、キノコはおおきくなり…。心配な気持ちをユーモアで受け止める絵本。台湾の書店主催の「2025年読書職人賞」にて新人賞および“もっとも親を説得して買いたい賞”受賞。

＜絵本－小学校低学年から＞

『ぼくのうみ』 nakaban/作 小学館 2026.8 ¥1700

うみがみたくなくて、いまはもういない「じーじ」がすんでいたいえにやってきた「ぼく」。かばんのなかには、こわれたすなどけい。じーじがつくってくれたたからものだった。まどをあけ、いちめんにひろがるうみをながめてすごすうちにねむってしまったが、めをさますと、うみはひどくあれていて…。さまざまに移り変わる海の表情を通じて、ひとりの少年の心を描き出す絵本。

＜絵本－小学校中学年から＞

『きみのいすはなかった』 ダニエル・ギル/文 スーザン・ギャル/絵 かわのたろう/訳 岩崎書店 2026.8 ¥1600

ギル先生の教室のいすの数は、生徒の数よりひとつ多い。そのわけは、先生の子どものときのできごとにあった。先生は生徒たちに、肌の黒いアーチャーというしんゆうといっしょに、ともだちの誕生日会に行った日の話を…。教育者である作者（文）が、かつて人種差別を目の当たりにした経験をもとに描く。被差別当事者の立場に理解と連帯を示す非当事者の在り方を伝える絵本。

<読み物ー小学校低学年から>

『恐竜少年』 結城熊王/作 本田亮/絵 岩崎書店 2026.8 ¥1300

小学4年生のリュウトが空腹のあまり食べたのは、恐竜研究者である父が開発途中の5種類の恐竜肉のサンプルだった。恐竜になりたいと強く願うことで1日1回5分だけ変身できる体になったリュウトは、6年生たちからお金を取られそうになるマサヒロを救おうと恐竜化するが…。人助けを通して自分にしかできないことを見つける物語。第38回福島正実記念SF童話賞大賞受賞作。

<読み物ー小学校中学年から>

『デディ・ロビンソンのたんじょう日』 ジョーン・G.ロビンソン/作・絵 小宮由/訳 岩波書店 2026.8 ¥810

デディ・ロビンソンは人懐っこいくまのぬいぐるみで、小さな女の子デボラにとって特別なもの。ある日デディ・ロビンソンの誕生日パーティーを開くが、デボラの心配をよそにだんだん気が大きくなりどんどん浮かれ、歌を歌いだし…。2012年出版の同名作品の文庫化にあたり訳文を全面的に見直し、シリーズ3巻分の内容を全2巻に再構成。9つのお話と作者の娘のエッセイを収録。

<読み物ー小学校高学年から>

『チームバクシン!』 楠木誠一郎/作 酒井以/絵 静山社 2026.9 ¥1400

テレビ局プロデューサーの中泉陽は、歴史バラエティ番組の新企画として、2027年放送NHK大河ドラマ『逆賊の幕臣』の主人公小栗上野介（本名小栗忠順）が埋めたとされる徳川埋蔵金伝説に目をつける。スマホアプリで幕末の江戸城内へタイムスリップし、勝安房守（のち海舟）と小栗の3人で「チームバクシン」を結成するが…。歴史に興味を持つきっかけになる歴史ファンタジー。

<読み物ー中学生から>

『パレスチナの羊飼いの』 アン・ローレル・カーター/著 櫛田理絵/訳 あすなろ書房 2026.8 ¥1800

ヨルダン川西岸地区の谷間で羊の放牧と農業を営む家に生まれた、パレスチナ人の少女アルマ。祖父から羊飼いの仕事を継承するが、谷付近でイスラエルの入植者による工事が始まってしまう。アルマは入植者と話すため、学校で英語を学ぶことを決意し…。土地をめぐる紛争当事者たちの様々な思い、入植者による破壊・収奪で傷つく人びと、言葉の力を信じる少女の勇気を描く物語。

<ノンフィクションー小学校低学年から>

『くらべっこ図鑑動物 くらべてわかる!』 小宮輝之/監修 朝日新聞出版 2026.8 ¥1600

動物のからだや育ち方、くらしや生き残るための作戦などについて、いろいろな動物を「くらべる」ことでちがいや多様性を学べる図鑑。写真をくらべるときに注目するとよい観点を示すとともに、動物のデータや豆知識を紹介するなど、新しい発見や気づきが生まれるように構成を工夫する。4つのコラムと巻末索引を掲載。「くらべっこ図鑑」シリーズに昆虫編と植物編もあり。

<ノンフィクションー小学校中学年から>

『ウムム・アーザルのキッチン』 菅瀬晶子/文 平澤朋子/絵 福音館書店 2026.9 ¥1300

イスラエル第三の都市ハイファに暮らすウムム・アーザルは4人の子どものお母さん。ユダヤ人の国イスラエルで少数派のアラブ人キリスト教徒である彼女は30年以上修道院の厨房で働き、苦労を重ねてきた。パレスチナ・イスラエルに関わり研究を続ける著者が、2000年代から2010年代中頃に彼女の家で共に暮らした経験に基づき、中東の紛争地で生きる人々の暮らしを描く1冊。

<ノンフィクションー小学校高学年から>

『8がけ社会 1 2040年の未来地図』 朝日新聞「8がけ社会」取材班/監修 文溪堂 2026.9 ¥3600

2040年に社会を支える現役世代（15～64歳）の人口が2020年と比べて全国平均で8割（8がけ）となる日本の社会。医療や交通、サービスなど社会の大きな変化による問題をどうすれば解決できるのか、漫画やイラスト、データや図解などで解説。8がけ社会を疑似体験できるすぐろくや、朝日新聞の取材記者が現地の取材を通して感じたことも掲載。シリーズ全3巻の1巻目。

<ノンフィクションー中学生から>

『「勉強ができない」には理由があった』 黒坂真由子/著 筑摩書房 2026.9 ¥1400

文字がうまく書けないが将棋は強いという息子の姿をきっかけに、「勉強ができない」理由を取材し探求した著者。本書は学習障害を主軸に、脳の仕組み、学習環境や周囲の理解、自分自身への理解や学習面での合理的配慮の受け方等、多様な観点からやさしく解説。勉強に悩む人やその周囲の人に役立つ1冊。巻末に参考文献、小説や当事者による著作の紹介あり。ちくまQブックス。

<研究書>

『しあわせな読書時間 0～12さいの本棚』 東京子ども図書館/編著 東京子ども図書館 2026.8 ¥1600

子どもの本と読書を専門とする私立図書館が、「子どもにどんな本を選んだらよいのか」という質問に答えるためにまとめたブックリスト。乳幼児から小学校卒業までに会ってほしい本約320冊を、2歳ごとの年齢に区切った「6段の本棚」に並べるイメージで紹介。各本の書影、紹介文、出版社ウェブサイトリンクする二次元コード付き。書名、人名索引あり。全編フルカラー。

※【新刊紹介】の本は、県立図書館で現在受入準備中の本です。そのため、県立図書館の蔵書検索（OPAC）では検索できませんが、利用することは可能です。収書のための選書の参考として、閲覧、貸出等を希望される方は、お問い合わせください。

山口県立山口図書館では、電子図書館サービスを提供しています。利用案内はこちらから→
<https://library.pref.yamaguchi.lg.jp/dlibrary/>

